

平成 30 年 7 月 6 日

豊島区の人口が 29 万人を突破

～昭和 53 年以来 40 年ぶりの 29 万人突破、年少人口が増加を牽引～

豊島区の人口が、7 月 5 日、290,024 人（住民基本台帳人口・外国人含む）となり、29 万人を突破した。平成 27 年 7 月に 28 万人を超えて以降も堅調に伸び続け、29 万人を超えるのは昭和 53 年以来 40 年ぶりである。

消滅可能性都市と指摘された平成 26 年以降、年齢区分別人口（各年 1 月 1 日）の伸び率をみると、3 区分（0～14 歳、15～64 歳、65 歳以上）のうち 0～14 歳の年少人口が最も増加し、平成 26 年から平成 30 年にかけて 1.08 倍となった。次いで 15～64 歳の生産年齢人口が 65 歳以上の老年人口以上に増加し 1.06 倍。年少人口の中でも低い年齢層ほど人口が増加しており、0～6 歳の就学前人口が 1.1 倍となった。

また、外国籍の住民は、30,392 人、その割合は 10.5%となっている。23 区で比較すると、平成 30 年 1 月 1 日現在では、新宿区の 12.4%に次ぎ 10.1%で第 2 位の割合となっている。

住民登録を担当する総合窓口課では、29 万人目の区民として、7 月 5 日に出生届が提出された赤ちゃん 4 人に記念品を贈ることにした。後日、高野之夫豊島区長がそのうちの 1 人に記念品を直接届けに行く予定である。

区の人口密度は、平成 30 年 1 月現在ヘクタールあたり 220.7 人となり、全国一の人口密度の高さとなっている。

29 万人を超えたことについての「高野之夫豊島区長のコメント」

豊島区は平成 26 年に 23 区で唯一「消滅可能性都市」の指摘を受けて以来、子育て環境の充実を積極的に推進し、2 年連続で待機児童ゼロを達成しました。こうした取り組みが、この度の人口 29 万人突破にもつながったと考えています。今後も、外国人を含めた多様な区民の皆さんが、互いに尊重し安心して暮らせるよう、スピード感を持った効果的な施策を展開し、誰もが住みたいまち、訪れたいまちを実現してまいります。

問合せ：

総合窓口課長 〔住民記録等について〕

企画課長 〔人口分析等について〕

平成 30 年 8 月 7 日

4 人の赤ちゃんに 29 万人目の区民として記念品を贈呈 ～ そのうちの一人を高野区長が訪問 ～



7月5日(木)、豊島区の人口が昭和53年以来40年ぶりに29万人(住民基本台帳人口・外国人含む)を突破した。これを記念して、5日に出生届を提出された4人の赤ちゃんに区から記念品が贈られることになった。贈呈されるのは自由学園工芸研究所製作のコルク製の積み木とふくろうのバッチだ。

本日午前11時頃、高野之夫区長がそのうちの一人、長崎在住の武藤 智和さん、菜摘さんの長男・應侑(おうすけ)くんを訪問した。

高野区長は「お誕生おめでとうございます。40年ぶりの29万人目ということで大変喜ばしいことです。これからも應侑くんがすくすく育つよう、子育てしやすい街づくりに取り組んでいきます。」とお祝いの言葉を添え、記念品を贈呈した。

記念品を受け取った武藤菜摘さんは「3年前に夫の実家に引っ越してきましたが、豊島区は待機児童ゼロなど、とても子育て環境が充実している印象です。近所の区民ひろばをいつも楽しく利用させてもらっています。」と笑顔で話した。

なお、ほかの3人の赤ちゃんには、職員の訪問または送付により記念品が贈られる。

問い合わせ：区民部総合窓口課